



# 農水産物を 志布志港から

イーキューワールドワイド  
株式会社  
顧問 富高四郎

# 本日のアジェンダ

- ① 会社概要
- ② 輸出取組の紹介
- ③ 小口混載輸送の紹介
- ④ GFP小口実証輸送の学び
- ⑤ 志布志港の紹介
- ⑥ 志布志港からの輸出の意義
- ⑦ 可能性、世界へチャレンジ！
- ⑧ 志布志港もりあげる会



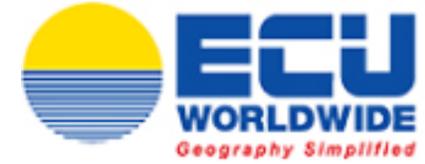
## ① 会社概要

- 世界中に164か国、300オフィスを展開する世界最大級のネットワークをもつ物流会社
- 1987年ベルギー、アントワープにECU Lineを設立
- 2005年日本法人としてECU Line Japan を設立
- 2011年物流業者Avvashyaグループの一員となる
- 2013年USA拠点の物流業者Econocaribe Consolidator買収
- 2016年グループ社名をECU WORLDWIDEに改名
  - 日本法人は、ECUworldwide Japan Ltd（本社東京都）

## ① 業務内容

- 海上混載便（輸出・輸入・三国間）をサービスする会社
- 国際複合輸送サービスを行う**フォワダー（NVOCC）**
- **コンテナ1本に満たない貨物**を積み合せて輸送する混載便のサービスを提供
- AIR便やコンテナ1本の輸送よりも**リーズナブルな料金**でご利用いただける**サービス**を展開
- カートン1個からでも引き受け、世界180拠点の自社オフィスでサポートし、**世界中の街から世界中の街へ**と商品をお届けいたします。“*Geography Simplified*”

## ② 輸出取組の紹介 (1/3)



- 2023年6月14日～6月17日台北市で開催された**FOODTAIPEI**に物流ブースを出展
- 地方港の特産品をリーファーコンテナで**常温・冷凍・冷蔵小口**で輸送
- ECUの台北代理店と共に志布志市にジョイント参加をして貰い特産品をアピール
- 来場者数：46,000名

## ② 輸出取組の紹介 (2/3)



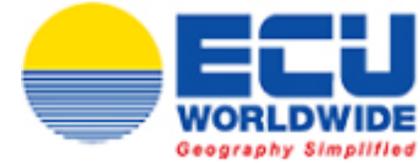
- 2023年8月17日～19日に香港 **FOOD EXPO 2023** に物流ブースを出展
- HongKongのミズナラショップに参加して貰い、ECU-Hong Kongのスタッフとともに 志布志市の特産品、焼酎をアピール
- 来場者数：430,000名

## ② 輸出取組の紹介 (3/3)



- 2023年9月13日～15日に東京ビッグサイトにて**日本の食輸出エキスポ**に物流ブースを出展
- 鹿屋市のPLOW A LANDに参加して貰い、ECU-TOKYOのスタッフとともに **志布志市の特産品、焼酎、熟成カンパチ刺身**をアピール
- 2023年10月4日～5日に福岡で開催、**FOOD EXPO九州**に参加し、同様に同様に志布志市特産品のアピールを実施

# ③小口混載輸送（常温・冷凍・冷蔵）



- 海外輸出海上コンテナ輸送
  - フルコンテナサービス：コンテナ1本単位で輸送
  - **小口混載サービス**：コンテナ1本に満たない**小ロットの貨物を混載**
- 物流の悩み
  - 海外取引で、数量・ボリューム面でコンテナ1本単位では大きすぎる
  - 1パレットのみの小ロット輸出をしたいが、AIR便だと高価
  - 博多港、神戸港、東京港への国内輸送は時間がかかる

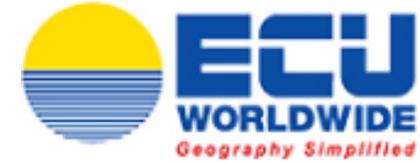
- 
- 小口混載サービス（LCLサービス）が活用できる！
  - このサービスを志布志港からECUワールドが展開しています！



# 距離

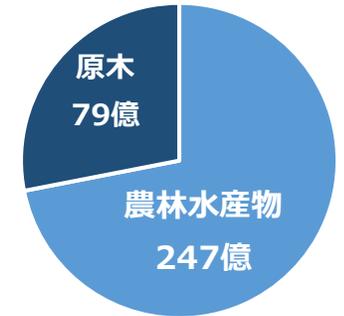


# 農林水産物輸出総額に対する 県内港湾の利用率

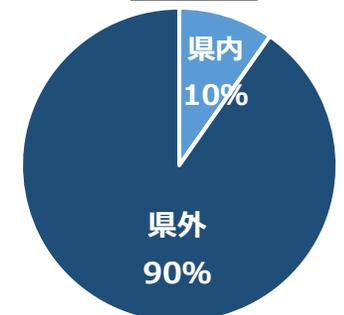


- 2022年度の鹿児島県農林水産物輸出総額は**327億**
  - 原木を除く農水産物は**247億**
  - その内原木の輸出総額は**79億**
- 鹿児島県内港湾
  - 志布志港、薩摩川内港、鹿児島港、鹿児島空港
- 2022年度の税関統計から県内港湾からの輸出総額は**24億**
- 実に農水産物の10%しか県内港湾が使用されていない。

鹿児島県  
農林水産物輸出総額



県内・県外港湾からの  
輸出額



- 志布志港の活用を促進する取組が求められている

参考：税関統計、鹿児島県発表値

## ④ 小口実証実証の学び

- 2023年2月にアクセンチュアと志布志港からの小口輸出について現状把握の為、輸出小口実証実験を実施。
- “大久保酒造様として、神戸港、博多港、志布志港のどの港の小口混載サービスを使いたい？その理由は？”
  - 志布志港の小口混載サービスを使用したい。
  - 理由：志布志港であれば**商品の輸送コストを削減**できる。**神戸港、博多港までの輸送コストが高騰しており近隣の港から輸出をしていきたい。**
- “鹿児島県特産品協会様として、神戸港、博多港、志布志港のどの港の小口混載サービスを使いたい？その理由は？”
  - 志布志港においては、予定していた輸出日程でリーファーコンテナのブッキングが非常に難しい状況で、予定していたスケジュールの組み直しなどが今回発生したことから、この点が改善されなければ利用は難しい。
- 志布志港を利用するメリットとしては、**スペース確保は博多に比べてスムーズにできる可能性があること、国内輸送に係る日数・費用が博多に比べ抑えられること、また利用促進の支援があること。**

## ⑤ 志布志港はどんな港？

- ・ 海外との輸出入手続きができる港である
- ・ 貨物の輸出入手続きができる税関がある
- ・ 畜産物の輸出検査ができる動物検疫指定港である
- ・ 植物の輸出入検査ができる植物検疫指定港である
- ・ 九州の南に位置し、東南アジアから近い港である。
- ・ 日本の食を支える南九州農水産物の生産地を背後にかかえる港である
- ・ 国土交通省から「農林水産物・食品輸出促進計画」の認定を受けた“産直港湾”である
- ・ 大隅一円をむすぶ高速道路、高規格道路の動脈起点港である



## ⑥ 志布志港からの輸出の意義

### ・ 地方創生

- ・ 生産地から離れた港湾を使用することから近くの港湾を活用することにより**港湾及び地域経済を活性化**させる

### ・ 環境、労働問題

- ・ 生産地から離れた港湾へのトラック利用によるCO2削減効果トラックドライバーの**2024年問題への対応**

### ・ 地域活性化

- ・ 地方港を活性化させることによる船会社への寄港誘致を促し、地方への**地域生産物に沿ったメーカー、工場の誘致**を目指す

## ⑦可能性、世界へチャレンジ！

- コンテナ単位でしか輸出を考えられなかった輸出から、**パレット単位での輸出**ができる
- 海外バイヤーとの**直接取引**をすることにより、まずは**リスクのない数量**にて商談、**国内輸送経費を抑えて志布志港から発送**
- 生産者、メーカーが直接海外バイヤーとの取引に臨み、自社商品の強み、嗜好性、アピールをじかに行き、**商品のフォローアップまでを追求**できる
- 国内市場**プラス海外市場**へのチャレンジ

## ⑧志布志港もりあげる会（官民一体取組）



### ・ 会の目的

- ・ 志布志港を農水産物の輸出港にすることと、港の業者と隣接地域の業者との接点を作り港の活性化を図ること

### ・ 参加者

- ・ 上組志布志支店、日本通運志布志支店、東洋埠頭志布志支店、鹿児島海陸運送、山下回漕店、司商事、ブルーリバー、志布志市役所、鹿児島県庁港湾空港課、国土交通省志布志港事務所

### ・ 取組内容

- ・ 会合を月例で開催
- ・ 港湾のソフト面・ハード面からの課題や産直港湾指定後(「農林水産物・食品輸出促進計画」認定後)の、次の課題についての意見交換

# ご清聴ありがとうございました！



輸出入のご相談は、いつでも承ります。  
お気軽にご相談ください。

080-6215-9384

(富高/Shirou Tomitaka)

